

地区スローガン：「ロータリーから千葉を元気に」  
会長方針：「温かいクラブ・活気のあるクラブ・調和のとれたクラブ」

## 国際ロータリー第2790地区 第3グループ

## 千葉西ロータリークラブ

Rotary Club of Chiba-West

# WEEKLY COMMUNICATION

創立	1976年1月20日	承認	1976年2月25日
会長	野口アキ子	幹事	飯高喜代志
例会場	千葉スカイウィンドウズ 東天紅	センシティタワー23階	
	TEL 043-238-5555		
例会日	毎週火曜日 12:30~		
事務局	千葉市中央区新田町12-1	トーシン千葉ビル7階	
	TEL 043-245-3202	FAX 043-245-7522	
	E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp		
	URL : http://www.chibawest-rc.net/		

### ■ 会長挨拶 / 野口アキ子 会長

10月は米山月間です。米山記念奨学会の創設者の米山梅吉翁の足跡を辿りロータリーの神髄を調べて見ました。1868年米山梅吉 誕生 4歳で父親死去により母の実家の三島に移住し学業に専念し成績抜群の向上心溢れる少年であったがゆえに11歳の時に旧家である米山家から養子縁組にと望まれ米山家に入ったそうです。沼津中学に進む頃から政治に興味を示し、演説や文章で頭角を現した梅吉は、いずれ言論で世に立つことを夢見て（このまま米山家の養子となり地方の地主で生涯を終えるか）悩みぬいた梅吉は村を出て箱根の山を徒歩で超え上京したのは16歳 銀座 江南学校入学、18歳で東京英和学校入学（現青山学院）米山家の援助はなく東京では苦学の毎日だったようですが、向学心は尽きることがなく、20歳でアメリカへ渡りスクールボーイをしながらウエスレアン大学で法学を学んだと言われています。「己の立身出世より国のため世の中のために役立ちたい」「私」より「公」の志向で学ぶ この志向はやがて「信託銀行」・「ロータリークラブ」の設立に繋がって行きます。28歳 帰国 実業家としての第一歩 アメリカ留学の成果を1冊の本にまとめ文章で身を立てようとしたのですが春子と結婚により日本鉄道会社に就職、30歳の時 井上馨氏との出会いで三井銀行に転職 その優秀さを認められてスピード出世 欧米の銀行業務調査に派遣され、提案した報告書は、わが国の銀行のあり方を方向付けるほどのものだったと書かれていました。50歳の時 福島喜三次との出会いがありロータリー活動の神髄となり、52歳で東京ロータリークラブ設立「会員は身分の上下と貧富の別なく人種 宗教にこだわらず 政治家たるを論ぜず 寛大 忍耐 正義 親切 親愛を地域社会に伝える使命がある」そして、1921年 関東大震災の時 17カ国503ロータリークラブからの義援金をいただきクラブはロータリー精神に目覚めて行ったそうです。その後66歳で3,000万円の基金で三井報恩会設立し三井財閥一大社会事業団 理事長に就任 全国に医療設備や予防医療の養老院新設 農村振興に寄与 学生に奨学金援助 研究所に投資等 個人としても青山学院に長男 東一郎を記念して柔道、剣道場を寄付 立教大学には次男俊二を記念して心理学実験室を寄付する等 素晴らしい功績があったようです。ここからは会員の皆様も良く知っていると思いますが、豆辞典にも記載されています米山記念奨学会設立趣旨です「将来の日本の生きる道は平和しかないその平和日本を世界に理解させるためにはアジアの国々から一人でも多くの留学生を迎え入れて平和日本を肌で感じてもらうしかない それこそ日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」東京ロータリークラブは昭和27年米山梅吉翁の遺徳を偲び留学生支援基金を設立し昭和29年に奨学生の受け入れを開始した。日本のロータリーによる他地区合同活動として発展して民間事業としては日本一の規模であるそうです。ロータリークラブがスポンサーしその会員個人が留学生のカウンセラーとなるのが特徴でもあります。



### ■ 四つのテスト / 長坂圭将 会員

「言行はこれに照らしてから」  
真実かどうか  
みんなに公平か  
好意と友情を深めるか  
みんなの為になるかどうか



### ■ お客様

鶴沢和弘 様（第3グループガバナー補佐）

### ■ RLI 終了証書の授与

依田和孝 会員 ファシリテーター終了

### ■ 幹事報告

2022-23 年度ガバナーの報告  
小倉純夫 氏…松戸 RC 所属、弁護士  
指名委員会より報告がございました。



## ■ 委員会報告

### ・クラブ広報・IT・ロータリー情報雑誌委員会

10月15日(火)18:30 ダイニングバー PEACE にて、炉辺会談を行います。会場は京成千葉中央駅ホテルミラマーレを背にして右側、3階建てのビルです。1階にセブンイレブンがはいてあります。現在37名の参加ということで登録料は3,000円、当日集金を行います。テーマは「千葉西RCがより活性化するには」です。答えを一つ二つ持って当日お出で頂ければと思います。よろしくお祈りします。

### ・会員増強委員会

11月12日(火)18:00 会員増強オープン例会を開催します。講師にプリンセス・プリンセスのリーダーでベアシストの渡辺敦子氏をお招きします。音楽専門学校の副校長と、子供の事業支援を行っています。タイトルは「3, 11 プリプリ再結成の奇跡と軌跡!」です。奮ってご参加ください。よろしくお祈りします。



## ■ クラブフォーラム 米山記念奨学委員会担当 花澤誠一郎 委員長

重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」を表しています。

ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン(ロータリークラブ会員)の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

「(1) 学業」に対する熱意や優秀性「(2) 異文化理解 (3) コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれます。

ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

① **学業** 学問に対する研究の目的・目標を明確にし、研鑽(けんさん)を重ねてその成果をあげる努力をする。

② **異文化理解** 異なる言語・文化・習慣などを理解する努力をする。

③ **コミュニケーション能力** 人間関係における円滑なコミュニケーションを築き、自己の確立と共に他者を受入れる柔軟な姿勢をもつ。

### ● 民間最大の国際奨学事業

年間の奨学生採用数は850人(枠)、事業費は14億円(2017-18年度決算)と、国内では民間最大の国際奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で20,396人(2018年7月現在)。その出身国は、世界127の国と地域に及びます。米山奨学金には、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

### ● 世話クラブとは?

日本には約2,300のロータリークラブがあります。そのうち1つのクラブが、1人の奨学生の「世話クラブ」となります。米山奨学生は世話クラブの例会に月に一度出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。

### 世話クラブで行われること

① 米山奨学生は月1回例会へ出席

② 奨学金の受け渡し

③ スピーチその他、親睦活動・奉仕活動への参加など

### ● カウンセラーとは?

奨学生1人に対し、世話クラブのロータリアンの中から1人がカウンセラーとなります。カウンセラーは、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーです。様々な職業、世代で構成されるロータリークラブでの交流は、奨学生が日本文化に接し、将来や奉仕について考える機会となります。米山奨学生とロータリアンの交流は、相互理解のみならず、双方にとって財産となるものです。外国人留学生の支援・交流を通じ、国を超えた絆や信頼関係を築き、やがて、一人ひとりの胸に世界平和を願う“心”を育てるといふ、事業創設の願いが込められています。手は、そうした“心”を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。

### ● 学友会からの報告

日本に留学し、ご縁があって、ロータリークラブ、ロータリアンとの出会いを通して、新たな気付き、そして多くの感動を得られました。学業に励んで、研鑽を積むことも出来ました。日本の文化に触れ、異なる言語・文化・習慣を理解することも出来ました。多数のロータリアンに接して、親睦活動、奉仕活動、スピーチ等を通じてコミュニケーション能力が磨かれました。自らの経験、感動が多くの奨学生を通して国際平和に続きますように私自身も努力したいと思います。と言う言葉が残されました

### ● 公益財団法人米山梅吉記念館

賛助会員ご入会のお知らせと100円募金について  
米山梅吉記念館より運営資金についての依頼がありました。

1. 賛助会員 お一人年間3,000円(1口)

入会の申し込みは郵便振替用紙に申し込み

2. 全国一人100円募金運動です。「100円の細い糸が館と全国を結ぶ」を合言葉に現在活発に継続されています。

### ● 山本康昭 会員の卓話

現在まで多くの貢献をしてくださいました山本ppに、自身の意図するもの、目的、考え方をご披露して頂きました。有難うございました。





■ 来賓ご挨拶 第3グループガバナー補佐 鶴沢和広 様

8月18日に開催されました千葉市親子三代夏祭りに際しまして、千葉西ロータリークラブの沢山の方々にご参加ご協力いただき、そろいの浴衣を着てロータリー広報活動そしてお神輿の巡航と盛大に行うことが出来ました事、この場をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げます。来年も当番クラブである千葉クラブが中心となって盛り上げてくださると期待しております。さて今後の予定ですが、11月8日は第3グループのクラブ対抗の親睦ゴルフ大会が浜野ゴルフクラブで開催されます。そのあとは、11月28日の第3グループ情報研修会がございます。RIの手法を取り入れて「クラブをより元気にする為に・千葉市をより元気にする為に」をテーマにグループディスカッションをする予定ですので入会歴の浅い会員だけでなくベテランの方々も、心だん声の大きい方には特にご参加いただければ幸いです。また、来年2月21日は第4グループとの合同でIMが開催されます。IMでは懇親会もございますのでクラブを超えて・グループを超えて潤滑油の助けを借りて懇親を深めていただきたいと思います。



さて、本年度のRI会長のマーク・マローニー氏の「ロータリーは世界をつなぐ」というテーマはこれまでに何度となく耳にされたと思います。ここ数年間では一番分かりやすい言葉で表現されているので、「何を言いたいのか？」と聞かれることもすくなく、私と致しましても大変ありがたいなと思っておりますが、逆に疑問を持たない分、そのテーマの中にある重要な意味を考えずにいるような気も致します。千葉西ロータリークラブの活動計画書の中にRI会長の挨拶文が載っています。是非、ご一読いただきもう一度ロータリー活動の中での自分の立ち位置を考えて頂きたいと思っております。

今年4月にシカゴで開催された規定審議会でロータリーの例会のあり方についても柔軟な考え方が採択されています。柔軟であれば良いということでは必ずしもありませんが、フレキシブルな例会が魅力あるクラブ作り、そしてクラブの活性化に繋がるのであればそれも効果的であると考えられます。RI会長もこれに関して、例会の方法や、何をもちて例会とするかを検討することも含まれるとの事であり、そして会員増強のアプローチに於いては、組織立った戦略的・革新的な方策が必要であり、そうすることで、地域社会とのより広く、深いつながりが出来るだけでなく、より多彩な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことが出来るとおっしゃっています。

さて、10月29日は今年度諸岡ガバナーの公式訪問がございますが、その時に諸岡さんからRI会長のテーマそして今年度の地区スローガンや地区運営の基本的な考え方の熱い説明がございますのでご期待ください。最後に野口会長・飯高幹事年度が素晴らしい一年となり千葉西クラブが益々発展され、合わせて会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

ク ラ ブ 協 議 会





## ■ ワンポイントロータリー（ロータリーの友誌 10月号紹介）

●（3P） RI 会長メッセージ：国際ロータリーマローニ会長は、ロータリーが 1985 年にポリオ撲滅運動が開始されてからの経緯を紹介している。1988 年当時は 125 か国で発症していたが、世界中のロータリアンが撲滅に努力した結果 99.9%減少し、ポリオ根絶まであとわずか2から 3 カ国になった。世界中のクラブはできるだけポリオデーのイベントを実施し、募金イベント活動を通して、ロータリアンとして奉仕活動を実行することを強く期待しています。我がクラブ奉仕活動としても検討する時期だと思えます。

●（7P） マローニ会長夫妻は 8 月 2 日に来日されて、2830 地区青森からクラブ訪問や地区行事に参加され、各地区を広範囲に訪問されました。今回の訪問先はあえて各地区のローカルな地域を選んで交流が行われたそうです。第 2830 地区青森の八戸から 2530 地区福島浪江から東京と神奈川をめぐって、2760 地区の名古屋まで幅広く交流を深めました。今回の特徴としては、各地区で開催されたインタクターやローターアクター、RYLA、交換学生との若い方々との交流に積極的に参加されました。各地の地域文化とロータリー活動に触れてたくさんの親善を深めロータリーの魅力を広めたようです。

●（30P） ロータリー日本 100 年史の発刊が準備されていますが、各地区から 5 名のシニアリーダーが選抜されて 100 年史編纂室を構成し、2020 年に迎える 100 年目の祝いを準備しています。その中でも日本のロータリアンとして活躍が顕著な 100 人を選抜してのロータリアンの紹介もあるそうですから、我が地区からはどなたか楽しみです。1920 年に東京クラブが創立されてからの経緯が歴史と共に細かく記載された記念誌の発行が待たれます。特にロータリー理念と職業奉仕理論やロータリアン同士が人生論の語り合いが盛んにおこなわれていた、草創期のまじめで熱心な会員気質とロータリー活動の活況ある時期の記述が詳細に書かれているようです。編纂室のシニアリーダー世代であれば尚更ですが、日本のロータリー 100 年後は、どのようなロータリー観とロータリー活動が待っているかも興味深い気がします。尚、100 年を記念して東京クラブが自主的に 100 周年記念点鐘セットを 34 地区分作成し、昨年度から各地区に提供されました。この記念点鐘は、ガバナーが持参して公式訪問時に使用されています。

●（34P） 10月号の侃々諤々、例会の服装について各地区からの報告が掲載されていて、夫々になかなかのクラブ事情があって、例会出席の服装に意見がにぎやかに投稿されています。いつの時代でも礼儀や服装に関してのご慣習がありますが、クラブの歴史や先達が作った伝統が優先されているようです。服装の礼儀にこだわる名残があっても、ドレスコードの基本はスーツに準じての采配が循環されているようです。

●（38P） 10月24日は世界ポリオデーということで、END POLIO NOW 地球上からポリオを根絶するまであと少しの処にきているそうです。クラブとしても、なぜこの運動が継続され、どのような支援活動が必要かを再認識する良い機会だと思えます。

●（50P） ビジョン声明の和訳文章変更の案内があり、書き出しの初めにある「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして……」の部分が「私たちは、世界で、地域社会で、そして……」に変更になるそうです。このビジョン声明は戦略計画を実践させるためのターゲットとして、ロータリアン目標としての意気込みを感じとる大切な声明ですから、是非普段から親しみ活用したいものです。

●（80P） 今月号の、この人を訪ねては、横浜 RC 工藤誠一さんは私学高校の校長先生だが、様々な職歴と経験を生かして、ユニークな指導をしている。聖光学院から東京大学合格者を多数出す優秀な学校経営を進めています。独特な人間学をもって、芋ほり教室からボランティア活動まで、幅広く活躍する学生の指導に邁進している紹介は、会員の人生感だけでなく、事業運営にも活用させることができる貴重な文面になっています。

●（85P） SPEECH: 社会変化を確実に捉えることの重要性和地域イノベーションのおもしろさは、三重大学副学長の西村訓弘さんの文面は、地方創世のヒントとなる記事になっていて、江戸時代からの歴史的背景から明治維新のころの外国との比較論が丁寧に紹介されています。学者らしい詳細なデータの集約ですが、エネルギーと環境問題も具体的に行動されて、地域社かいでの貢献が大きく実っている具体例が力強く受け止められます。ビジネスマンとしての感覚もあり事業経営者としても、多くのヒントが見つかる可能性が秘めていると思えます。

## 😊 ニコニコ BOX

- ・山本…結婚祝いを頂いて。
- ・吉野…父の樹バザーに品物を頂きありがとうございます。
- ・大森…誕生祝いを頂き、ありがとうございます。
- ・野口アキ子…第3グループガバナー補佐、ご多用の中ありがとうございます。クラブ協議会をよろしくお願ひします。
- ・花澤…米山記念奨学委員会の卓話をさせていただきます。
- ・友田…10月1日ご支援のお陰で、千葉いのちの電話は 30 周年を迎えることができました。
- ・北村…早く秋がくるといいですね。台風心配です。
- ・前田…良い事がありましたー！

本日の出席	総数	対象者	出席	欠席	出席率	ニコニコBOX	合計	次週のプログラム
	53名	47名	40名	7名	85.11%		25,000円	
前々回修正	メーキャップ			欠席	出席率		累計	18:00点鐘 ダイニングバー PEACE
			4名	5名	89.13%	563,000円		